

餘慶寺だより

編集・発行 上寺山餘慶寺

〒701-4232 岡山県瀬戸内市邑久町北島 1187

納経所 TEL 086-942-0186 FAX 086-942-0187

恵亮院 TEL/FAX 086-942-3788

本乗院 TEL 086-942-2791 FAX 086-239-5823

吉祥院 TEL/FAX 086-942-3789

定光院 TEL 086-942-2356 FAX 086-944-1490

明王院 TEL 086-943-1030 FAX 086-943-1069

圓乘院 TEL 086-942-2356

ホームページアドレス <http://www.yokeiji.com/>

積善

題字 第241世天台座主 玄深師(恵亮院藏)

ひとくち法話

『最後の教え』

世間では「いつまでも、お骨を家に置いておくものではない」と言われます。しかし、これは仏教的には全く根拠のないことです。いつまでに納めなければいけないという決まりなどはありません。遺族の悲しみが和らぐまでお骨をそばに置いておくことになら問題はないのです。また、ある程度時間がたたないと、お骨を手放すことが出来ないでしょう。

お骨をそばに置くことに問題はありませんが、お骨に執着する余り、いたずらに悲しみを深めては亡くなった方が浮かばれません。ここで大事なことは、その悲しみを単なる悲しみとして終わらせてはいけないということです。

悲しみの涙ははずれ乾く時がきます。その時、「私の人生にとってあの悲しみこそがまことに大きな教えでありました」と心から思える教えをそこから学んでほしいのです。

限りある身であることを知らされる時、今日一日を、今ひと時を精一杯に生きることが出来ます。かけがえのないものを失うということは人生最大の悲しみです。しかし、そのことによって何よりも深く人生を見る目を開き仏法の教えを頂くことが出来ます。

出会いがあれば別れがあります。生老病死、愛別離苦…(四苦八苦)。先立つ者は皆この最後の教えを残された者に伝えて旅立たれます。我々は、この最後の教えを無駄にせず有意義な人生を全うすることが大切ではないでしょうか。

日常の仏教用語集

■「有頂天」
てんじょうかい

天上界の九つの天のうち、最も高い天の名。得意の絶頂にあることをもいう。

■「出世」
しゅっせ

普通は、社会的地位の上がることをいうが、仏教では如来(または救済者)が、この世に出現することをいう。

■「方便」
ほうべん

真実(の悟り)に到達するためのだて。人を導くにあたり、その人の素質、性質、種々の事情を考慮し、最も適切な方法、手段に導くこと。



餘慶寺からのお知らせ

薬師縁日 (於 薬師堂)

毎月8日 午前10時～ (8月はありません)

護摩供養をしています。

ご祈祷のお申し込みは随時納経所へお願いします。

観音縁日 (於 本堂)

毎月18日 午前8時～

みんなで観音経をあげます。お経本は本堂にありますので、

お気軽にお参りください。



餘慶寺の鐘を撞き、除夜の鐘を奏でましょう。

新年の各種授与品は回廊にて！初詣の際はお立ち寄りください。

第十七回上寺山両詣りライトアップ

豊原北島神社と餘慶寺が隣接する上寺山では、行く年と来る年に願いを込めて、神と仏にお詣りができ、両方のおかげをいただけることから「両詣り」と名付けていろいろな行事を実施しています。

餘慶寺では古いお札のお焚き上げ、除夜の鐘撞き、八角堂での楊灌頂（お清め）、薬師堂での護摩祈祷などがつとめられます。特に新年が厄年に当たる方や、本命星が厄運の方は、護摩祈祷での厄除けや方位除けをおすすめいたします。

また、今年もカウントダウンイベントとして願い事を書いた白い風船を夜空へ飛ばします。あたたかい無料接待やフリーマーケットの年越しそばなども用意し、皆様のお詣りをお待ちしております。詳しくは、配布しておりますチラシをご覧ください。

年末年始、上寺山へ是非ともお詣りください。



平成 29 年 厄年一覽

男性			女性		
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
24 歳 平成 6 年生	25 歳 平成 5 年生	26 歳 平成 4 年生	18 歳 平成 12 年生	19 歳 平成 11 年生	20 歳 平成 10 年生
41 歳 昭和 52 年生	42 歳 昭和 51 年生	43 歳 昭和 50 年生	32 歳 昭和 61 年生	33 歳 昭和 60 年生	34 歳 昭和 59 年生
60 歳 昭和 33 年生	61 歳 昭和 32 年生	62 歳 昭和 31 年生	36 歳 昭和 57 年生	37 歳 昭和 56 年生	38 歳 昭和 55 年生
歳は男女とも数え歳です。厄除けのご祈祷をお申し込みください。			60 歳 昭和 33 年生	61 歳 昭和 32 年生	62 歳 昭和 31 年生

平成 29 年 年回表

年回	寂年
五十回忌	昭和四十三年
三十三回忌	昭和六十年
二十七回忌	平成三年
二十五回忌	平成五年
二十三回忌	平成七年
十七回忌	平成十三年
十三回忌	平成十七年
七回忌	平成二十三年
三回忌	平成二十七年
一周忌	平成二十八年

古いお札、だるま、お守りを
お焚き上げいたします。
年末になりましたら
本堂へお持ちください。

薬師堂からのお知らせ

薬師堂の護摩供養

十二月三十一日(土) 二十一時〜翌一時半
 一月一日(日) 二日(月) 十一時〜十六時

年末年始の両詣りの際に厳修します。

護摩供養では、皆様の煩惱を焼き浄め、厄災を消除します。厄除け・方位除け・家内安全などのご祈禱をいたします。お申し込みは納経所・山内各院へお願いします。

両詣りの際には、薬師堂にて受け付けております。

「方位除け」のおすすめ

「方位除け」は人が生まれながらに持っている本命星が、その年にどの方向に位置しているかで一年の吉凶を占うものです。

今回の両詣りからご祈禱をお受けいただけます。下図をご確認いただき、「八方ふさがり」「表鬼門」「困難宮」「裏鬼門」の年齢に当たる方は年回りが良くなる特に注意しなければならぬため「方位除け」のご祈禱をおすすめします。

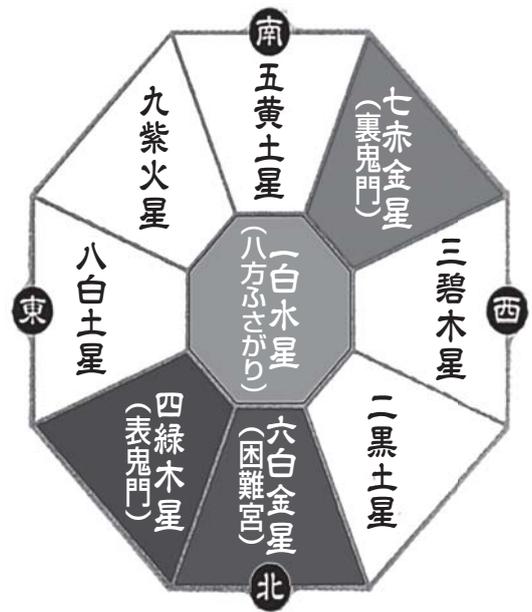
詳しくは、別紙「楊漕頂と護摩供養のご案内」ならびに「天台こよみ(十四ページ)」をご覧ください。一年の平穩無事・運氣上昇をお祈りしましょう。

毎月十八日は観音縁日。午前八時より観音経を誦読します。

平成29年方位除け一覧表

中央(八方塞がり) 一白木星	北東(表鬼門) 四緑木星	北(困難宮) 六白金星	南西(裏鬼門) 七赤金星
昭和2年生	昭和8年生	昭和6年生	昭和5年生
昭和11年生	昭和17年生	昭和15年生	昭和14年生
昭和20年生	昭和26年生	昭和24年生	昭和23年生
昭和29年生	昭和35年生	昭和33年生	昭和32年生
昭和38年生	昭和44年生	昭和42年生	昭和41年生
昭和47年生	昭和53年生	昭和51年生	昭和50年生
昭和56年生	昭和62年生	昭和60年生	昭和59年生
平成2年生	平成8年生	平成6年生	平成5年生
平成11年生	平成17年生	平成15年生	平成14年生
平成20年生	平成26年生	平成24年生	平成23年生

平成29年本命星方位図(方位除け)



毎月第二日曜日午後二時より阿弥陀堂にて納骨堂説明会を行っています。

餘慶寺境内紹介

『百観音霊場巡拝の碑』



これは、薬師堂南の休憩所前に建てられている碑です。

碑文によると、射越村に住んでお

られた鶴海松太郎貞弘が十三歳の次女を連れて「天下泰平・国家安穩」を祈願して、明治十三年五月から同十四年にかけて、秩父・坂東・西国の各観音霊場百観音を巡拝され、めでたく満願できたことに感謝して、餘慶寺ご本尊に奉納された碑です。
明治十三年頃といえ、今のように道路や交通機関は整備されてなく、小石がごろごろした道や急な山道をもつぱら歩いて巡拝されたことでしょう。
また、お参りされた霊場は、東は栃木・埼玉から西は姫路まで非常に長い道なのです。
白衣姿で次女を連れ「天下泰平」を祈願して険しい道を次の札所に向って歩いて行かれています姿は、想像するだけでも頭の下がる思いです。

よけいじ寺子屋だより

会場 餘慶寺会館（十四時〜）

寺子屋写真館



今後の予定

☆『分かりやすい梵字の話』

講師 本乗院住職

十月十日(土)

小林周伸師

☆『落語講演』

講師 岡山大学落語研究会

二月二十一日(日)

二名様

☆『初心者向け印相の話』

講師 明王院住職

二月十九日(日)

岡本昌幸師

☆『釈尊の生涯(その二)』

講師 定光院法嗣

二月四日(土)

西野祐聖師

☆『未定』

講師

二月十一日(日)

村上 岳先生

☆『仏教のイメージ法(その二)』

講師 惠亮院住職

三月四日(土)

土井内祐真師

※どなたでも聴講可能です。(無料)
お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

編集後記

今年も年末が近づいてきました。大掃除やお正月の準備など、何かと忙しいですね。また、忘年会や新年会があり、ついつい食べ過ぎ・飲み過ぎになりがちなのではないかと思えます。健康に気をつけ、新年がよりよい年になるようにしていきたいでしょう。